



2006年10月6日  
MR/J37/06



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

メディア用原稿  
非公式記録

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京都渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811  
Fax: 03-3499-2828  
E-mail: media@unu.edu  
Website: <http://www.unu.edu/>

## 「2006年国連デー」関連イベントのお知らせ “日本の国連加盟50周年を記念して”

「国連デー」は、61年前の1945年10月24日に国連憲章が発効したことを記念して設けられた国連の記念日で、1947年以来、毎年世界各地で様々な行事が繰り広げられています。

今年は日本が国連に加盟して50年という特別な年に当たるため、日本国内にある22の国連関係機関が力を合わせ、「人民と加盟国」の平和を願って、例年にも増して多彩なイベントを用意して、国連デーを盛り上げて行くことになりました。

メイン会場となる東京・渋谷のUNハウス（国連大学本部ビル）では10月25日（水）午前9時から午後7時にかけて、日本の国連加盟50周年をテーマにした国際シンポジウムが開催されます。ワークショップでは、国連と関係機関の働きをもっと知りたい方や国連機関に就職を希望される方々を対象とした説明が行われる予定です。

また、東京以外でも国連関係機関のオフィスがある福岡、広島、神戸、大阪、名古屋、富山、横浜では10月から12月にかけて記念イベントが順次開催されることになっています。

このうち10月25日の国際シンポジウムは、内外の識者、国連関係者、NGO関係者が、日本と国連の関係を様々な角度から分析、検討して日本が今後国連で果たすべき役割、国連のあるべき姿、日本の国際協力のあり方を考えるもので、日本の国連加盟50周年にふさわしい内容になるものと期待されています。また、このシンポジウムにはCNNの創設者で国連のために、1997年、10億ドルを寄付して国連財団を創設したテッド・ターナー氏が特別参加される他、元国連大使で現在国際司法裁判所の判事をされている小和田恒氏、ナフィス・サディック国連事務総長特別顧問、ハンス・ファン・ヒンケル国連大学学長らも議論に加わる予定です。

10月25日の詳しい日程や日本国内各地の国連機関オフィスが行うイベントの予定等は、10月中旬をめどにご通知させていただくこととしております。マスコミ各社の皆様におかれましては是非、この10月25日の国連大学本部ビルでの国際シンポジウムと各地のイベントを取材予定に入れておいていただきたく、お願い申し上げます。

「2006年国連デー」に参加する国連機関は次の通りです。

国連食糧農業機関、国際原子力機関、国際労働機関、国際通貨基金、国連人道問題調整事務所、国連地域開発センター、国連開発計画、国連環境計画、国連人口基金、国連ハビタット（国連人間居住計画）、国連難民高等弁務官事務所、国連広報センター、国連児童基金、国連工業開発機関 東京投資・技術移転促進事務所、国連訓練調査研究所、国連プロジェクト・サービス機関、国連大学、国連ボランティア計画、国連世界食糧計画、世界保健機関健康開発総合研究センター、世界知的所有権機関、世界銀行